

台風・地震発生時等の対応について

【令和6年度版】

重要

大地震などでは、メール配信・電話等が正常に機能しない状態が予想されます。台風や地震発生等の場合の対応をまとめましたので、お子さまと確認(避難場所、避難方法等)をしてください。あわせて、家庭保管用・お子様のランドセルに入れる用の「避難カード(学校以外で大地震が発生したときに、どこに避難するのか)」を確認してください。

大雨・洪水・暴風警報時の対応

【登校前(午前6時の時点)】

	情報収集	警報発令時の対応	その後の対応
愛鷹小	NHKの天気予報(dデータ)やインターネット等で、「大雨・洪水・暴風警報(「津波」は除く)」発令の有無を確認※「沼津市」で確認	「自宅待機」をメール配信・HP掲載 等	10:30までに「登校」「休校」の指示をメールで配信、HPに掲載。
各家庭		メール配信の有無にかかわらず、「自宅待機」	学校からの指示に従う。

【在校時の対応】

	情報収集	「対応が必要」と認められた場合	対応パターン
愛鷹小	NHKの天気予報(dデータ)やインターネット等で、「大雨・洪水・暴風警報(「津波」は除く)」発令の有無、校区内の風水害の状況、今後の予測等を確認※「沼津市」で確認	右のいずれかの対応を決定し、メール配信・HP掲載等で知らせる。	○下校時刻に方面別に、一斉下校。 ◎下校時刻を変更して方面別に、一斉下校。 ☆保護者による引き取り。
各家庭		メール配信・HP掲載等で学校の対応を確認する。	◎下校時刻変更への対応。 ☆引き取りに学校に来る。

大地震(震度5弱以上)発生時の対応

【登校前】

	情報収集	「対応が必要」と認められた場合	対応パターン
愛鷹小	テレビやインターネット等で、地震の規模を確認する。 校内の被害状況(人、建物)を確認する。	午前6時過ぎに、メール配信・HP掲載 等 ※メール、電話等が使用できない可能性「大」	原則「自宅待機(登校しない)」 ☆安全が確認されたら、「登校」をメール配信、HP掲載にて指示。
各家庭	テレビやインターネット等で、地震の規模を確認する。		メール配信等の有無に関わらず、 原則「自宅待機(登校しない)」 ※保護者の判断で、自宅待機、または安全な避難場所への移動を決定する。 ☆学校からの指示があった場合は、それに従う。

【在校時の対応】

	情報収集	「対応が必要」と認められた場合	対応パターン
愛鷹小	テレビやインターネット等で、地震の規模を確認する。 校内の被害状況(人、建物)を確認する。	メール配信・HP掲載 等 ※メール、電話等が使用できない可能性「大」	原則「保護者による引き取り」 ※大津波警報が出る場合などの場合は、「学校待機」。安全確認後に、「引き取り」をメール配信、HP掲載にて指示。
各家庭	テレビやインターネット等で、地震の規模を確認する。		メール配信の有無にかかわらず、「引き取り」 ☆学校から別の指示があった場合は、それに従う。

南海トラフ地震に関する情報(調査開始)発令時の場合

【登校前】

	情報収集	発令時の対応	対応パターン
愛鷹小	テレビやインターネット等で、情報を確認する。	午前6時過ぎに、メール配信・HP掲載 等 ※メール、電話等が使用できない可能性「大」	原則「平常通り」
各家庭		メール・HP確認 等	メール配信等の有無に関わらず、 原則「平常通り」 ☆学校からの指示があった場合は、それに従う。

【在校時の対応】

	情報収集	発令時の対応	対応パターン
愛鷹小	テレビやインターネット等で、情報を確認する。	メール配信・HP掲載 等	原則「平常の活動を継続」 ※必要に応じ引き渡し準備
各家庭		メール・HP確認 等	いつでもメールが確認できるよう準備 ☆学校から指示があった場合は、それに従う。

南海トラフ地震に関する情報(可能性が高まった場合)発令時の場合

【登校前】

	情報収集	発令時の対応	対応パターン
愛鷹小	テレビやインターネット等で、情報を確認する。	午前6時過ぎに、メール配信・HP掲載 等 ※メール、電話等が使用できない可能性「大」	原則「自宅待機」 ☆安全が確認されたら、「登校」をメール配信、HP掲載にて指示。
各家庭		メール・HP確認 等	メール配信等の有無に関わらず、 原則「自宅待機」 ※保護者の判断で、自宅待機、または自宅以外の安全な避難場所への移動を決定する。 ☆学校からの指示があった場合は、それに従う。

【在校時の対応】

	情報収集	発令時の対応	対応パターン
愛鷹小	テレビやインターネット等で、情報を確認する。	メール配信・HP掲載 等	原則「引き渡し」 ※引き渡し準備
各家庭		メール・HP確認 等	メール配信の有無にかかわらず、「引き取り」 ☆学校から指示があった場合は、それに従う。

登下校時の「大地震発生時」の対応

	情報収集	「対応が必要」と認められた場合	対応パターン
愛鷹小	テレビやインターネット等で、情報等を確認する。	○登校してきた児童の把握 ○校舎等の破損状況の把握 ※メール、電話等が使用できない可能性「大」	「登校した児童の把握」 →児童は学校待機 ☆原則「保護者の引き取り」 ☆安全確認後に、「登校」「授業続行」 「方面別一斉下校」等をメール配信、HP掲載にて指示。
各家庭	テレビやインターネット等で、情報等を確認する。 「避難カード(家庭保存用)」で、子どもの避難場所を確認する。	○子どもの避難状況の把握 ・児童が自宅に戻ったときの対応 ・児童が自宅以外に避難した場合の把握	○「子どもが自宅に戻った場合」は、原則「自宅待機(登校しない)」 ○「子どもが自宅以外に避難した場合」は、原則その場所に引き取りに行く。 (「避難カード(家庭保存用)」で子どもの避難場所を確認する。) ☆学校からの指示があった場合は、それに従う。

学校が停電した場合の対応について

【登校前】

	情報収集	情報発信時の対応	その後の対応
愛鷹小	テレビやインターネット等で、情報等を確認する。	停電であることのメール配信(電話連絡の可能性有り)	停電が解消するまで休校。その後復旧し登校の場合には、メール配信する。
各家庭		復旧の連絡があるまで「自宅待機」	復旧の連絡を受け登校。

Jアラートが作動しミサイル発射情報が発信された場合の対応について

【登校前】

	情報収集	情報発信時の対応	その後の対応
愛鷹小	Jアラートにより防災行政無線が自動的に起動し、屋外スピーカーから警報が流れ、携帯電話に緊急速報メールが配信される。	メール配信なし	休校等の特別な対応がある場合には、メールで配信する。
各家庭		安全が確認できるまで「自宅待機」	Jアラートの続報やテレビ、ラジオで安全が確認された後登校する。